

前橋高「選抜」切符



秋季関東大会、甲府工を下し応援席に向かう前橋の選手たち = 昨年10月30日宇都宮清原球場

24年ぶり2度目

太田商、無念の「補欠」

第74回選抜高校野球大会(3月25日から11日間・阪神甲子園球場)の選考委員会が31日、大阪市北区の毎日新聞大阪本社オーバルホールで開かれ、本県の前橋高など出場32校が決定した。

前橋高の出場は24年ぶり2度目。前橋高は、昨秋の県大会準決勝で桐生第一を破り、準優勝。関東大会では、平塚学園(神奈川1位)、甲府工(山梨1位)を破り4強進出。準決勝

では、同大会で優勝した宇都宮工を相手に、延長10回でサヨナラ負けはしたものの存在感を強くアピールした。本県からは、1999年高崎商が甲子園へ出場して以来3年ぶりの出場。前橋高は前回出場した1978年、現監督の松本稔投手が春夏通じて初の完全試合を達成し、ベスト4に進出した桐生高とともに群馬旋風を巻き起こした。